

学生協働(Library Assistant)&図書館カフェの実践

学生の「やってみたい！」を山大スピリットで実現

目的・趣旨 |

山口大学図書館では、学生のキャリア形成教育支援やピアサポートによる図書館サービスの向上を目的として学生協働事業に取り組んでいます。この取組は「山口大学憲章」及び「明日の山口大学ビジョン」で謳われている、学生と教職員による“共同・共育”という大学の理念の具体化の一環として位置づけられ、学生と教職員が切磋琢磨できる環境の整備を目指すものです。

また、増築・改修工事を経てリニューアルオープンした総合図書館には、平成26年4月に学生が担うカフェがオープンしました。滞在型図書館の機能充実を図るため、改修工事を機に飲食可能なスペースを新設したところ、学生たちから「カフェを運営したい」との話が持ち込まれ、学生支援担当部署等と連携して実現したものです。

実施内容 |

○学生協働 (Library Assistant 以下、LA)

LAの取組は平成18年度に人文学部司書課程の学生10名でスタートし、現在は全学部か



カウンターを担う LA

ら院生を含む約40名が参加し、以下の4本柱で活動を展開しています。

① ピアサポート (学生による学生の支援)

総合カウンター及びPCサポートコーナー等で図書館の利用方法や資料の探し方など情報利活用を支援。新入生オリエンテーションや図書館ガイダンスを支援。

② キャリア教育支援

日々の活動を通して社会人基礎力を養成。月例会の開催や業務日誌などの報告を義務付けて職員とLAの意思疎通を図るとともに、教職員による講習会も開催。

③ 図書館サービスの向上

学生の視点から発案し職員が協力して各種活動を実施(企画展示WG、破損本修理WG、就活コーナーWG、ML(ミュージアム・ライブラリー)連携企画など)。

④ 他大学との交流と情報共有

学生協働交流シンポジウムの企画、開催、参加。

○図書館カフェ

約20名の学生が授業の空き時間を利用して、経営感覚を実践的に身につける活動として、平日の11時50分から17時の間、運営しています。カフェの立ち上げに際しては、学生の自主的活動への資金支援制度「山口大学おもしろプロジェクト」の支援を受け、企画運営の勉強をしながら1年をかけて準備してきたものです。経営責任、会計、人事、広報、デザイン等の担当を決め、サービス内容やレイアウト、メニュー、仕入れ方法や価格も学生たちが自ら考え決定しています。平成26年1月に約1か月間

プレオープン営業を行い、アンケート調査をもとにメニュー、価格等を見直して4月9日に正式オープンしました。図書館では飲食店開業に関する手続を調べたり、改修工事の際に電気、ガス、給排水工事を追加しました。

実施成果 |

職員と学生の協働は、学生の意見を取り入れた図書館運営が可能になるとともに、職員の意識に変化をもたらしました。そして、学習環境の改善や情報リテラシー支援強化など図書館サービスの向上につながり、その結果として1日当たりの入館者数がこの5年間で1.2倍に増加しています。LAは、業務を通して社会人基礎力を身に付け、職員と接することで多様な働き方や価値観に触れ、職業観を学ぶことで成長していきます。また、職員もLAと関わる中で、改めてユーザーサイドに立って図書館業務を見つめ直す意識が生まれ、改善や向上を展開していく原動力へとつながっています。

図書館カフェは、大学図書館内で学生が運営するという余り前例を見ない取組であり、地元メディアでも紹介されたため、地域の方も興味を持って足を運ばれ、併せて図書館を利用されるという相乗効果を生んでいます。学生のチャレンジ精神に応える形で図書館が場所を提供することにより、図書館は単なる学習支援の場を超えて、学生の主体的・実践的な学習の場、学習機会そのものを創出する場に成り得るということに気付きました。

参考文献・URL |

- ・ 山口大学図書館
<http://www.lib.yamaguchi-u.ac.jp>
- ・ 図書館カフェ「りぶカフェ 栞」(Facebook)
<https://www.facebook.com/pages/%E3%82%8A%E3%81%B6%E3%82%AB%E3%83%95%E3%82%A7/532066626874286>

連絡先 |

山口大学情報環境部学術情報課 〒753-8511 山口市吉田 1677-1 TEL: 083-933-5180



図書館カフェ

今後の展開・課題 |

学生協働の取組は、図書館にもLAにも非常に有意義なことですが、運用に際しては職員にかかる負担や財源の確保など課題もあります。図書館業務の一部を担わせる学生に対し、LA業務に対する責任や自覚を促すためには、手順や方法を教えるだけでは不十分です。目的を説明し、各人の反応を観察しつつ気長に指導していく必要があります。また、職員とLA双方のモチベーション維持も課題の一つです。互いに切磋琢磨し、成長を喜び合うことが秘訣と考えます。

図書館カフェはオープンしたばかりですが、学生たちは「地域の方も気軽に立ち寄れて、様々な人が交流しあえる空間を提供したい」と考えており、本を介しての交流イベントを図書館とLAとカフェ運営の学生とで共同企画できれば、更に面白い活動に発展していくものと期待されます。